



# ゆくて遥かに

令和2年2月17日(月)

第95号

長野県松本深志高等学校長

## 「自治の精神」を活かした教育活動の検証と展望（2月8日）

少子化の波の中で、第二期の県立高校再編が喫緊の課題となっています。県教育委員会では、新たな高校のあり方について、2017年（平成29年）3月に、全県の高校のあり方に係る基本理念・方針となる「学びの改革 基本構想」（以下「基本構想」という）を策定しました。この基本構想では、高校改革を、少子化に対応するための単なる縮小・統廃合計画とするのではなく、長野県の高校教育を新たな学びへと改革するための絶好の機会ととらえ、「新たな教育の推進」と「新たな高校づくり」に一体的に取り組んでいくことを示しました。さらに、



2018年（平成30年）9月に、基本構想の考え方をより具体化した「高校改革～夢に挑戦する学び～実施方針」（以下「実施方針」という）を策定しました。この実施方針の中で、モデル校方式による新たな学びの場の創造、ということが提言されています。本県の高校教育の質的向上、教育課題の解決及び多様な学びの場の創造を目的として、モデル校を指定し、成果を広く県下の高校へ普及させる、としているのです。このモデル校が、いくつかの紆余曲折を経て「未来の学校」という名称になりました。今年度、未来の学校研究校として6校が指定されましたが、その種別は、スーパー探究校、信州グローバルハイスクール、国際バカロレア研究校、高度産業教育推進校、少人数学級校、その他の研究校の6つです。本校は初め、スーパー探究校に手を挙げたのですが、県教委の方針もあり、その他の研究校、ということになりました。その他、というところが、深志らしいと言えば深志らしいのですが。テーマは、自治の追求により骨太のリーダーを育成する高校、としました。本校の校風と言えば、自主・自立を掲げる「自治の精神」です。現在の教育目標にも、「自主的で、確かな思考力とたくましい行動力を備えた、心豊かな人間」の育成と定めています。この「自治の精神」は、旧制松本中学の校風を受け継ぎながら、新制高校となってからも脈々と受け継がれています。校則・制服を廃止し「深志生の良心に問う」という言葉に照らしながら、生徒自らが、自由かつ自らを律しながら主体的に生きることを強く求めてきました。現在でも、学校と地域をつなぎ、共に共有する問題を解決していくために組織した「松本深志高校地域フォーラム 鼎談深志」や、生徒会予算を自分たちで決定していく「折衝会」など、本校らしい生徒会活動の存在がいくつもあります。しかし、時代の変遷とともに、生徒が育つ家庭や社会の環境も大きく変わり、様々な教育改革や教育課程の改定も進められる中で、この伝統に育まれてきた自治活動の実践を評価検証し、時代と共にさらに深く価値ある教育活動に発展させることが求められていると考えました。そこで様々な教育分野の研究者の協力を得て、その到達点の検証と未来への深化を生み出すためのキックオフとなる会議を8日に開催しました。出席者は、協力を申し出ていただいた大学関係者8名（内、本校卒業



生4名)と本校の担当教諭2名と私、そして「未来の学校」のコーディネーターの計12名です。来年度から55分授業とし、土曜授業をなくしてゼミ形式の新たな探究的な学びの場を創設、さらにコース制導入も検討しながら、学びのモチベーションを高める工夫をしていきたいと考えていますが、自由と自治の校風は、本校にとって存在証明とも言うべきものです。同窓会や保護者、地域、そして生徒も巻き込みながら、より進化させていくための議論を深めていきたいと思っております。

## 第2回生徒大会開かれる(2月14日)

14日の放課後、大体育館において生徒大会が開催されました。生徒大会は最高の議決機関、今回の議案には、令和2年度生徒会一般会計予算、特撮ヒーロー研究会の部活動昇格、放送委員会制作班の「放送部」の併用、第73回とんぼ祭の開催日程と会場、その他とんぼ祭制作関連について、と並びました。新執行部を中心に、自由で主体的な自治の精神の集大成の場の一つであるとんぼ祭に向けて動き出しました。



## オンライン英会話レッスン(2月7日)



7日の3時限、1年生のコミュニケーション英語Ⅰの授業で、ベネッセのOST(Online Speaking Training)を活用した授業がL1L教室で行われました。インターネットを利用して、フィリピンにいる現地講師陣と生徒が1対1でオンラインでつながり、英会話のレッスンを受ける、というものです。こうしたICT関連の学びのツールは、日々更新されて使い勝手がよくなったり、続々と新しいものも出てきたりしています。効果的に使っていきたいものです。

## その他の話題をいくつか



★ 信州つばさプロジェクト留学フェアが11日午後、松本市のMウィングで行われました。最初にウィーン留学生14名による報告演奏会があり、2年の小林さんがトリで出演、見事なヴァイオリン演奏を披露しました。

★ 福島の将棋の全国大会、2年の小川さんが予選3勝2敗で敗退、1年の三島くんが決勝トーナメント1回戦で敗退、という結果でした。

★ 東京大学新聞が英語研究室の前と図書館に。卒業生のお二人からの寄贈です。



## 今週の予定(A2)

日	曜日	行 事 等	その他(主に校長動向)
17	月	学年会	
18	火	学校安全衛生委員会 健全な職場づくり推進委員会	演劇顧問会
19	水	職員会	
20	木		附属中学校評議員会
21	金		中信地区校長会
22	土		
23	日	天皇誕生日	
24	月	振替休日	
25	火	学年末考査 学年会	演劇顧問会

